

平成23年度財務諸表を作成しました

本市では、民間企業の考え方を取り入れた会計基準で皆様に財政状況をお知らせするため、総務省より示された「総務省方式改訂モデル」を用いて財務諸表4表を作成しています。

なお、本紙においては財務4表のうち「貸借対照表(バランスシート)」のみ掲載し、それ以外の4表等は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

貸借対照表(バランスシート)とは

地方公共団体の決算はその年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産【市民の財産】の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

普通会計バランスシート

(平成24年3月31日現在)

借方 (資金の使われ方)		貸方 (資金調達の上れ方)	
1 公共資産		1 固定負債	
① 有形固定資産	892億 2,324万円	1年以上先に支払うもの	
庁舎、道路、公園、学校、保育園、公民館、体育館などの土地、建物		① 地方債	168億 363万円
② 売却可能資産	677万円	② 長期未払金	5億 8,170万円
	892億3,001万円	③ 退職手当引当金	37億 7,926万円
2 投資等			211億6,459万円
① 投資及び出資金	1億 8,142万円	2 流動負債	
② 基金等	75億 5,371万円	1年以内に支払うもの	
③ その他	3億 5,371万円	① 翌年度償還予定地方債	21億 6,145万円
長期延滞債権など		② 未払金	1億 2,925万円
	80億8,884万円	③ 賞与引当金	5億 2,279万円
3 流動資産			28億1,349万円
① 資金		●負債合計	
現金や必要に応じてすぐ使える基金(預金)		239億7,808万円(236億9,039万円)	
・財政調整基金	20億 2,405万円	1 純資産	
・減債基金	17億 7,481万円	すでに負担して、支払いが済んでいる資産	
・歳計現金	14億 3,468万円	① 国県補助金など	140億 4,398万円
② 未収金	1億 2,689万円	② 一般財源など	646億 5,722万円
	53億6,043万円	●純資産合計	787億 120万円(780億3,296万円)
●資産合計	1,026億7,928万円(1,017億2,335万円)	●負債・純資産合計	1,026億7,928万円(1,017億2,335万円)

- ・資産合計 1,026億 7,928万円 【市民1人当たり 172万円 (171万円)】
- ・負債合計 239億 7,808万円 【市民1人当たり 40万円 (40万円)】 ()内は前年度の金額
- ・純資産合計 787億 120万円 【市民1人当たり 132万円 (131万円)】

※平成24年3月31日現在、住民基本台帳人口 59,589人

普通会計とは一般会計と仁良川地区土地区画整理事業特別会計の一部を合算したものです。

平成23年度は投資等の庁舎整備基金や、流動資産の財政調整基金、減債基金等の増により資産が約9億5,593万円増加しました。また、道路整備、小学校の改修に伴う借り入れも増加し、負債も約2億8,769万円の増となっています。